

【No. 19】次は、森林水文に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

森林に降った雨の多くは、最初に樹冠に到達し、**A** となった後、地表面に到達する。

一般に我が国の森林土壌の浸透能は、降雨強度に比べて高いため、地表面に到達した雨水は、ほぼ全て斜面内に浸透する。一方で、林道や登山道のような土壌が踏み固められたところなどでは、降雨強度が森林土壌の浸透能を上回ることによって、**B** が発生する場合がある。

雨水が地表面から森林土壌に浸透し、浸透水が地下の難透水層（基岩など）に達すると土壌間隙が全て水で満たされた状態となり、斜面下方に向かって地下水が移動する。この地中の水移動を **C** という。さらに、斜面の下端に近づくにつれて、地下水位が高くなり、地表面に達すると **C** の一部が地表に現れる。地表に現れた地点から水が **D** となって斜面を流下して、河川に達する。

(2023年度総合職試験（大卒程度試験）／専門（多肢選択式）試験問題 森林・自然環境)

A	B	C	D
1. 林内雨	ホートン型地表流	飽和側方流	復帰流
2. 林内雨	ホートン型地表流	パイプ流	中間流
3. 林内雨	飽和地表流	飽和側方流	中間流
4. 樹雨	飽和地表流	パイプ流	復帰流
5. 樹雨	ホートン型地表流	飽和側方流	中間流

※正答は2P目に記載しています。

【正答番号】 1